新社長

MISIグループの自動車用鋼材、建材薄板の国内中核販社

強みの「提案力」深化

紅忠スチール 大越 政幸氏

4月に紅忠スチールの4代目社長に就任した大越政幸氏は「初日に会社の新しいスローガン『明るく、楽しい未来の絵を描こう』を発表した。当社とつながっている全ての方々に〝明るさと未来〟を提案する会社にしたい」と抱負を述べる。

同社は旧和泉鋼業、丸紅スチールの自動車鋼材商権を継承した紅忠オートスチールと、建材薄板の伊藤忠丸紅スチールAPを2013年に統合し発足。自動車と建材薄板という二つの事業分野で、MISIグループの自動車用鋼材、建材薄板の国内中核販社として顧客サービスの向上を図った」。

建材薄板事業では、16年から販売しているマンション用の鋼製メーターボックス『アイコモン』が順調に成長しており、21年からタワーマンション向け仕様も新たに開発した。

「今後は商品群も拡充し、設計織り込み営業を全国的に展開して拡販していきたい」。

前期の業績については、目標としていた鋼材販売量30万トンを達成。今期の見通しは「ウクライナ危機をはじめ、鉄鋼市況を取り巻く環境が刻々と変化し非常に難しい舵取りを迫られているが、需要が想定よりも下振れしても、顧客サービスの質は一層充実させ、しっかりと収益を確保したい」と意気込みを示す。

自動車鋼材と薄板畑が長く、マレーシアとインド、豪州の海外駐在を歴任。CC設立などゼロから新しい商流を構築した経験が豊富だ。就任に先立ち、旧伊藤忠丸紅スチールAPの故高杉幹生社長と、旧和泉鋼業の故石川仁社長の墓前に、会社を継承し発展させるB。（伊藤 健）

同社は旧和泉鋼業、丸紅スチールの自動車鋼材商権を継承した紅忠オートスチールと、建材薄板の伊藤忠丸紅スチールAPを2013年に統合し発足。自動車と建材薄板という二つの事業分野で、MISIグループの自動車用鋼材、建材薄板の国内中核販社として顧客サービスの向上を図った」。

建材薄板事業では、16年から販売しているマンション用の鋼製メーターボックス『アイコモン』が順調に成長しており、21年からタワーマンション向け仕様も新たに開発した。

「今後は商品群も拡充し、設計織り込み営業を全国的に展開して拡販していきたい」。

前期の業績については、目標としていた鋼材販売量30万トンを達成。今期の見通しは「ウクライナ危機をはじめ、鉄鋼市況を取り巻く環境が刻々と変化し非常に難しい舵取りを迫られているが、需要が想定よりも下振れしても、顧客サービスの質は一層充実させ、しっかりと収益を確保したい」と意気込みを示す。

自動車鋼材と薄板畑が長く、マレーシアとインド、豪州の海外駐在を歴任。CC設立などゼロから新しい商流を構築した経験が豊富だ。就任に先立ち、旧伊藤忠丸紅スチールAPの故高杉幹生社長と、旧和泉鋼業の故石川仁社長の墓前に、会社を継承し発展させるB。（伊藤 健）

略歴

大越 政幸氏（おおこし・まさゆき）88年（昭63）慶應義塾大学法学部卒、同年丸紅入社、05年伊藤忠丸紅鉄鋼自動車鋼材部自動車鋼材第三課課長兼紅忠オートスチール、07年伊藤忠丸紅鉄鋼インド会社社長、13年人事総務部人事企画チーム長、16年伊藤忠丸紅鉄鋼太平洋会社Managing Director（メルボルン）、21年伊藤忠丸紅鉄鋼自動車鋼材本部長代行兼自動車鋼材第二部長。64年（昭39）8月13日生まれ。